

北海道地域福祉学会 2022 年度 全道研究大会

【開催要綱（案）】

【大会テーマ】 地域生活課題の解決に向けた連携・協働

2020 年 1 月に我が国最初の新型コロナウイルス感染が確認されてから間もなく 3 年を迎えます。この間、感染拡大防止の観点から、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に自粛を求められるなど、地域を構成する全ての人々の生活と暮らしに大きな影響を及ぼし、更に深刻さを増してその影響が継続しています。長期化する感染症拡大の影響は、新たに地域生活課題を抱える住民を生み出す一方、新たな支え合いの仕組みや、ICT の活用にみられるような新たな支援方法を生み出しました。

近年の社会福祉法改正では、地域福祉の推進（法第 4 条第 3 項）や包括的な支援体制の整備（法第 106 条の 3）、重層的支援体制整備事業（法第 106 条の 4）に代表されるとおり、地域生活課題の把握や相談の受理、更には解決に向けての取組みを住民や支援関係機関の連携によって構築することが求められています。これは、福祉サービスの提供の原則（法第 5 条）において、地域住民との連携のみならず各種サービスとの有機的な連携が規定されていますが、組織形態や価値基準の相違などの連携を阻む要因は少なくありません。

私たちは新型コロナウイルス感染症の影響によらず、地域に発生する地域生活課題把握と解決に向けた取組みを多様な主体の連携により取り組むことが求められています。また、全国の社会福祉組織・関係者が 2040 年を見据えつつ、2030 年までの方向性を提起している「全社協福祉ビジョン 2020」では、ともに生きる豊かな地域社会を実現するために、社会福祉協議会、社会福祉法人、民生委員・児童委員等が重層的に連携・協働を深める取組を進めることとされており、そのための実践や手法の蓄積が重要視されています。

本年度の大会では、「地域生活課題の解決に向けた連携・協働」をテーマに地域福祉の実践的な研究成果について討議を行うとともに、今日の新しい地域福祉を展望し、研究討議いたします。

1. 主 催 北海道地域福祉学会
2. 共 催 日本地域福祉学会北海道部会
3. 後 援 社会福祉法人北海道社会福祉協議会（予定）、一般社団法人 Wellbe Design
4. と き 2022 年 11 月 20 日（日）
5. と ころ 対面参加とオンラインのハイブリッド開催で実施します。お申し込みの際に参加方法をお選びください。但し、お申し込み後に参加方法を変更することはできません。また、第 1 部自由研究・実践活動発表は対面のみの実施となります。
 - ①対面参加：北星学園大学 C 館 4 階（札幌市厚別区大谷地西 2 丁目）
 - ②オンライン：Web 会議システム（Zoom）を用いたオンライン参加
6. 内 容 全道研究大会プログラム（別紙 1）のとおりに

7. 参加定員 ①対面参加 50 名
②オンライン 100 名（定員を超えた場合は先着順にお受けいたします。）
8. 参加費 会員：500 円、非会員：2,000 円、学生：無料（但し院生、道外在住の学生除く）
※ 会員区分は「北海道地域福祉学会員」若しくは「日本地域福祉学会員（北海道ブロック会員に限る）」となります。
※非会員が 1 か月以内に当会に入会した場合、初年度会費 3,000 円で入会が可能です。
※申込期限以降のお申し込みは、参加費を一律 500 円上乗せいたします。
9. 参加申込 11 月 16 日（水）までに Peatix（外部イベントサイト）から、お申込みください。利用方法がわからない方、複数人同時申し込み、請求書が必要な方は下記メールアドレスまでお問い合わせください。なお、自由研究・実践活動発表を希望される方は、募集要項を確認の上、Peatix より 11 月 11 日（金）までにお申し込みください。
10. 支払方法 参加費は、参加申込みに合わせ、Peatix（外部イベントサイト）よりお支払いください。クレジットカードの他、コンビニ支払（手数料は参加者負担）も可能になります。
11. 留意事項 本研究大会の参加にあたっては、以下の事項に同意したとさせていただきますので、必ずご確認ください。なお、第 1 部自由研究・実践活動発表は対面のみの実施となります。
- ① 参加には、Zoom ミーティングクライアントのインストールが必要です。Zoom 公式ホームページ (<https://zoom.us>) 最下部のダウンロードより「ミーティングクライアント」をクリックしてください。
 - ② 万一、オンライン大会に際してトラブル等が生じた場合は、学会ではその責任を負いません。特に、著作権、肖像権、個人情報等の取扱いには十分ご注意ください。
 - ③ 当日の様子や資料は画面を含め、撮影・録画・録音・複製、SNS への投稿はお控えください。
 - ④ セキュリティを守るため、参加申し込み者が得られた Zoom の ID やパスワードを漏洩させないよう、十分ご注意ください。
 - ⑤ 当学会では、コンピュータの操作、インターネット接続、映像・音声等の技術的サポートやお問い合わせ、トラブルの対応はできません。
 - ⑥ 参加にあたっては、接続機器のカメラ及びマイク機能は不要ですが、機器設備や通信料等、別途発生する費用については各自ご負担ください。
 - ⑦ 通信上の問題により発生した音声及び画像の途絶があった場合においても、参加費の返金等はできかねます。
 - ⑧ Zoom での参加の方法など、より詳細な案内や注意事項は、事前にインターネット等で検索するなど、各自対応をお願いします。
 - ⑨ 本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大等、社会情勢によっては中止もありうることをご承知おきください。
12. 事務局 北海道地域福祉学会事務局
〒004-0022 札幌市厚別区厚別南 2 丁目 7 番 28 号 一般社団法人 Wellbe Design 内
TEL：011-801-7450 FAX：011-801-7451 E-mail：info@hacd.jp

全道研究大会 プログラム

時間	内容
09:30～10:00	第1部開場（オンライン配信は行いません）
10:00～12:00	第1部：自由研究・実践活動発表 ※研究発表募集要綱（別紙2）により、学会員の研究発表を募集します。
12:00～13:00	休憩・Zoom 開設
13:00～13:10	第2部開会・趣旨説明
13:10～14:20	基調講演 ソーシャル・チェンジに向けた連携・協働 室田信一 氏（東京都立大学人文社会学部准教授） 英語圏ではソーシャルワーカーをチェンジ・エージェントと称するように、ソーシャルワーカーは変化を生み出すことが求められています。地域共生社会づくりが求められる今日、地域ではどのような変化が求められるのでしょうか。また、そうした変化はどのような連携・協働によって推進されるのでしょうか。地域福祉実践を事例に検討します。
14:20～14:30	休憩
14:30～16:50	シンポジウム 地域福祉実践における多様な連携・協働の現状 ・シンポジスト ① 津別町地域包括支援センター 次長（保健師） 丸尾 美佐 氏 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における連携・協働 ② 鷹栖町社会福祉協議会 事務局長 梅澤 美幸 氏 重層的支援体制整備事業における参加支援を中心とした連携・協働 ③ 株式会社ホクノー ヘルスケア・ウェルフェア室長 小熊 祐介 氏 地域密着型の企業が行うホクノー健康ステーションにおける連携・協働 ④（調整中） 子どもを取り巻く環境におけるスクールソーシャルワーカーの連携・協働 ・コーディネーター 忍 正人（日本医療大学総合福祉学部准教授/本学会会長） ・コメンテーター 室田 信一 氏（東京都立大学人文社会学部准教授）
16:50～17:00	閉会
18:00～	交流会：任意参加

自由研究・実践活動発表 募集要綱

1. 発表条件

自由研究発表・実践活動発表は、北海道地域福祉学会員の資格が必要です（発表申し込み時点で会費の滞納がない者）。ただし共同研究の場合、連名者は非学会員でもかまいません。なお、非会員の方でも、研究発表の応募とあわせて入会申し込みを行い、所定の手続きにより入会の承認が得られた場合は発表が可能となります。

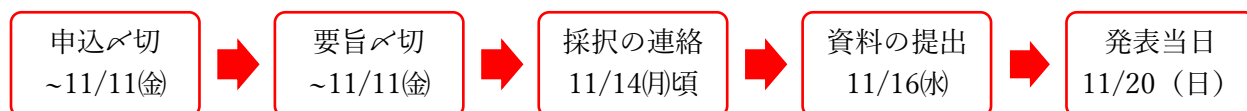
2. 申込方法

参加申し込みにあわせ、Peatix より 11 月 11 日（金）までにお申し込みください。自由研究発表・実践活動発表の採択（発表可否及び発表順等）は理事者において決定され、11 月 14 日（月）を予定に当学会ホームページ上で発表採択のご連絡をいたします。

3. 発表要領

- (1) 分野：発表する分野は、「自由研究発表」と「実践活動発表」に分かれており、分野を選んでエントリーすることができます。
 - 1) 自由研究発表：日頃の研究をまとめ発表する。（①研究の目的、②研究の方法、③研究の結果、④考察という基本的な枠組みを示した発表資料を作成ください。）
 - 2) 実践活動発表：日頃の現場での実践活動をまとめ発表する。
- (2) 原稿：発表要旨をまとめた原稿（参加者に事前に提供するもの）を 11 月 11 日（金）までに事務局にメールで提出してください。
- (3) 時間：発表時間は 20 分（発表時間 15 分、質疑応答時間 5 分）とします。
- (4) 発表：発表者は当日会場にお越しいただき、対面での発表を行います。
- (5) 資料：発表当日に配布を必要とする資料は、各自で 25 部以上ご準備ください。会場での印刷はできませんのでご承知おきください。なお、当日発表する資料は 11 月 16 日（水）までにメール添付で事務局まで提出してください。データ形式はワード、エクセル、パワーポイント、PDF とし、これら以外の場合は事務局にお問い合わせください。
- (6) 機材：発表時に使用する機材として、パソコン、プロジェクターを用意しています。提出いただいた発表データは PC 内に入れております。
- (7) その他：発表順や会場レイアウトについてはご指定できません。事務局に一任願います。

4. エントリーから発表までのスケジュール



5. 留意事項

- (1) 発表に際してトラブル等が生じた場合は、学会ではその責任を負いません。特に、提示するスライド内等での、著作権、肖像権、個人情報等の取扱いには十分ご注意ください。
- (2) 発表はオンライン配信を行わず、来場の参加者のみに実施します。